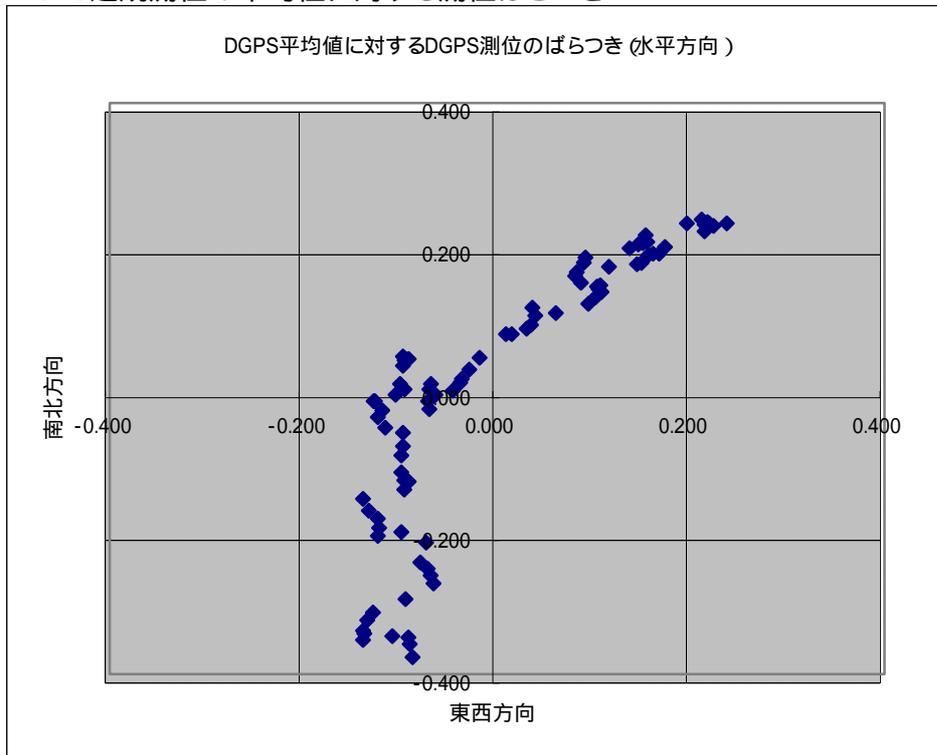


MSASによるGPSデータ補正精度検証

検証内容 単独測位及びMSASによるDGPS測位を一定時間(60秒)測位し、その座標差を比較
検証実施 2006年8月
検証機器 Trimble ProXH
GPS状況 PDOP :1.6、捕捉衛星数 6衛星
検証結果 MSASによるDGPS測位の単独測位との座標差比較

	X	Y	標高
DGPS	-89306.268	-12312.978	61.214
Single	-89305.316	-12311.663	58.925
較差	-0.952	-1.314	2.289

MSAS連続測位の平均値に対する測位ばらつき



検証所見 グラフのばらつき具合から水平50cm程度の範囲で測位しており1/500スケールで考えると1mm程度の誤差の精度になるものと考えます。
海上保安庁が運用する各局(全国27局)からのビーコンによるDGPSではサポートできない地域での利用が可能で、今後、市街地や山間部などでの悪環境での測位状況の検証結果によっては、要求精度が満たせばMSASを使用したGPS測位により、一層の作業効率を図れるものと思われます。

MSAS運用について

MSASは、国土交通省航空局にてGPSの補強情報を送信するシステムとして、運輸多目的衛星用衛星航法補強システム(MSAS)として整備されたシステムで、現時点では試験運用ですが、正式運用は平成18年度末頃ということです。
MSASによるDGPS測位を行うには、WAAS等のSBASに対応したGPS受信機が必要です。